

明治四十三年　　紀元二千五百七十年
本紙　一收金二圓　一月銀壹圓　六月金卅五
定價　號三十號　郵稅壹月十三錢
刊　日曜日及大祭日の翌日は休刊(月刊)
廣告　五十號止　雜報特則廣告五號活字
料告　五十號止　諸行一圓金
發行兼編輯人　高木久馬
印刷所　小松久時一郎
京城西番町門外(電話六六三)
發行所　京城新報社

國府を以て人臣が其の生命を失
なく通行し得るやうにしたればとて
の急不意を衝り損ねたものとは云へ

▲農學校開校期 平安南道立農學校は
内部より既に許可ありたるが同校は然

人では分配したアア是から
 掛るのだといふので、天秤
 小さな桶を下げて夫へ茄子
 小で、諸所の屋敷の普請場
 何うです、午餐の副食物に茄



月友會 指南 鶴崎賢定 小兒病 高井醫院
 本院部 龍山本町二丁目廿二番地 梅毒淋病 電話二二六
 支那部 教授 東司照子 院長陸軍軍醫正 高井貞治
 改名御披露廣告
 各位益々御清榮のなん事賀祝儀に先年より四方御客様方の御最良に
 より今日の如き繁昌に相成候桃仙閣今般都にもより同閣主
 子殿より同店一切を委しに於て引受けの事に相成りしを遊春閣と改め
 閣と改め一層改良を加へ殊に盛焼仲居等も内地にて熟年
 経験のある者を數名呼び寄せ御きげん相伺はせ候間可分々當に格
 別御立て被下申渡し料理も内地のものにて新築に充分厳格なる者
 を雇入候に付是非一度御來遊被下鑑覧あられん事を伏て願上候
 龍山桃山桃仙閣跡
 遊春閣
 福山ひさ 電話二二三番

生後多年
在京都市帝國醫科大學耳鼻喉科教室に於
和辻博士のT.T.研究會に出席し、同會の診療に從事致し候

耳鼻咽喉頭氣管病

診療時間 午前九時至午後七時迄
旭町三丁目(二月旅館上)

美術書畫
襖壁天井張
京都壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七號)



所
開限等入事以

前漢誠親院部長
耳鼻咽喉科部長
石田耳鼻咽喉氣管科醫院
今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同様御眷顧
被下度候

京都醫科大學
醫學博士 和辻春次

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室皮膚病癩癬毒必尿瘡

器種
科教室奉職の處今般辭職左の處に開業專

ら皮膚病癰毒麻病膀胱病生殖器瘻の診療に従事

診療
午前八時午前一時迄
夜間五時九時迄

南大門通三丁目

支那領事館前通
京城郵便局後

入院隨意

電話二七三番

佐藤皮膚病院

院主佐藤伊藏

